



きづな **コンバーター**

[EPSON マニュアル]



EPSONでの操作

1 「EPSON 会計 財務応援 R4 Lite」 を起動します。

2 一覧から、出力する年度のデータを選択します。

状態	コード	会社名	期首年月日	期末年月日
	1	株式会社フォーパルラボコミュニケーション	令和 5. 4. 1	令和 6. 3. 31
繰越済	1	株式会社フォーパルラボコミュニケーション	令和 4. 4. 1	令和 5. 3. 31

出力する年度の行をクリックします。

3 「基本メニュー」 をクリック。
▶ 「残高推移表」 をクリック。

財務応援R4 Lite 2022 - (Weplat) (10002) テスト用会社B 令和 4年10月 1日-令和 5年9月30日

00. データ選択 | 01. 基本メニュー | 02. 入力 | 03. 帳票 | 04. 決算 | 05. 設定 | 06. 部門 | 07. 転送 | 08. 連動 | 09. 保守

11 現金出納帳
12 銀行帳
13 帳簿選択入力
14 振替伝票入力
15 入金伝票入力
16 出金伝票入力
17 仕訳入力
18 仕訳検索・仕訳変換
19 個別元帳
20 仕訳件数表示

元帳・伝票発行等
51 総勘定元帳
52 振替伝票発行
53 入金伝票発行
54 出金伝票発行
55 仕訳日記帳
56 帳簿印刷

試算表・推移表・残高一覧表等
61 L型試算表
62 L型推移表
63 合計残高試算表
64 残高推移表
65 補助別勘定残高一覧表
66 摘要別勘定残高一覧表

消費税
71 消費税計算書
72 売上科目明細表
73 仕入科目明細表
74 消費税額チェック

決算書
81 決算書

91 科目(補助科目) マスター設定
92 摘要(固定語句) マスター設定
93 科目別理想摘要設定

処理を起動する 11

「条件設定」をクリック。以下の通り設定します。

処理年月	13月 「期末などを別列で出力する」にチェック
月展開範囲	事業年度内
比較欄出力形式	当期のみ
前期実績の出力	しない
金額単位	円
計算式出力	しない

財務応援R4 Lite 2022 - (Weplat) (10002) テスト用会社B 令和 4年10月 1日-令和 5年 9月30日

業務メニュー 残高推移表

条件設定(F2) 出力設定(F3) タイトル(F5)

処理年月
 ※ 期末月(13(44)です。
 四半期 期末を含む
 期末等を別列で出力する

出力日付
 出力日付を変更する

月展開範囲 事業年度内 指定月から過去1年

予算割当 する しない
 予算 を割当 (処理月の翌月以降)

比較欄出力形式 当期のみ 2期比較 3期比較 3期月平均比較

出力区分 発生 累計

科目出力順 標準科目出力順

前期実績の出力 指定月まで 期末まで しない

比較欄金額出力 する しない

金額単位 円 千円 万円

計算式出力 する しない

「出力設定」をクリック

▶ 「科目コードの出力」で「明細のみ」にチェック。

財務応援R4 Lite 2022 - (Weplat) (10002) テスト用会社B 令和 4年10月 1日-令和 5年 9月30日

業務メニュー 残高推移表

条件設定(F2) 出力設定(F3) タイトル(F5)

貸借対照表の出力 する しない

損益計算書の出力 する しない

原価報告書の出力 する しない (損益計算書に含める)

科目コードの出力 明細・合計 明細のみ しない

補助科目の出力 する しない
 出力順の設定に従う)

科目の集約 する しない

行均等 帳票全体 BS/PL/CPL毎 しない

見出し欄への期間出力 する しない

フォント拡大設定 通常 拡大

この後、

- ・「残高推移表（発生）」
- ・「残高推移表（累計）」

の二つのファイルを出力します。

※ 「残高推移表(発生)」を出力する時

条件設定をクリック。

▶ 「出力区分」で「発生」にチェック。

業務メニュー 残高推移表

実行(F10) キャンセル(Esc) デザイン設定(F9) フッター設定(F12) Excel(CF10) PDF(CF11) テキスト(CF12) ヘルプ(F1)

条件設定(F2) 出力設定(F3) タイトル(F5)

処理年月 令和05年13月
※ 期末月は13(44)です。
 四半期、期末を含む
 期末等を別列で出力する

出力日付 出力日付を変更する 令和05年09月30日

月展開範囲 事業年度内 指定月から過去1年

予算割当 する しない
 予算 を割当 (処理月の翌月以降)

比較欄出力形式 当期のみ 2期比較 3期比較 3期月平均比較

出力区分 発生 累計

科目出力順 標準科目出力順

※ 「残高推移表(累計)」を出力する時

条件設定をクリック。

▶ 「出力区分」で「累計」にチェック。

業務メニュー 残高推移表

実行(F10) キャンセル(Esc) デザイン設定(F9) フッター設定(F12) Excel(CF10) PDF(CF11) テキスト(CF12) ヘルプ(F1)

条件設定(F2) 出力設定(F3) タイトル(F5)

処理年月 令和05年13月
※ 期末月は13(44)です。
 四半期、期末を含む
 期末等を別列で出力する

出力日付 出力日付を変更する 令和05年09月30日

月展開範囲 事業年度内 指定月から過去1年

予算割当 する しない
 予算 を割当 (処理月の翌月以降)

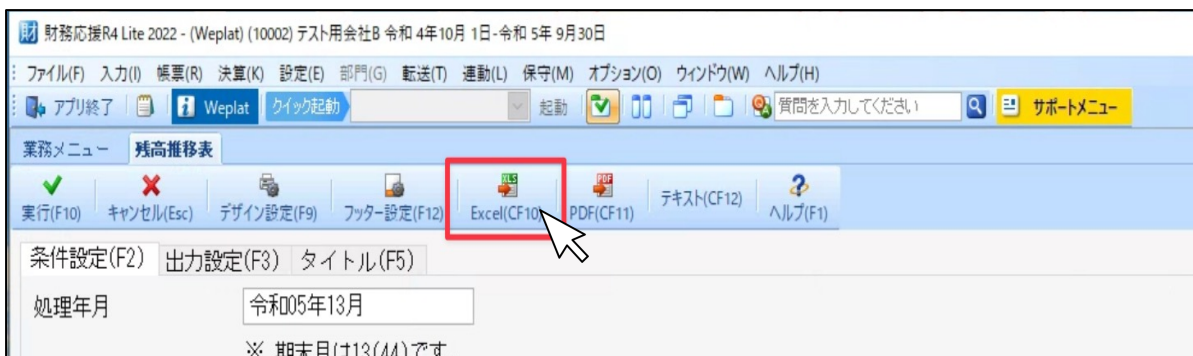
比較欄出力形式 当期のみ 2期比較 3期比較 3期月平均比較

出力区分 発生 累計

科目出力順 標準科目出力順

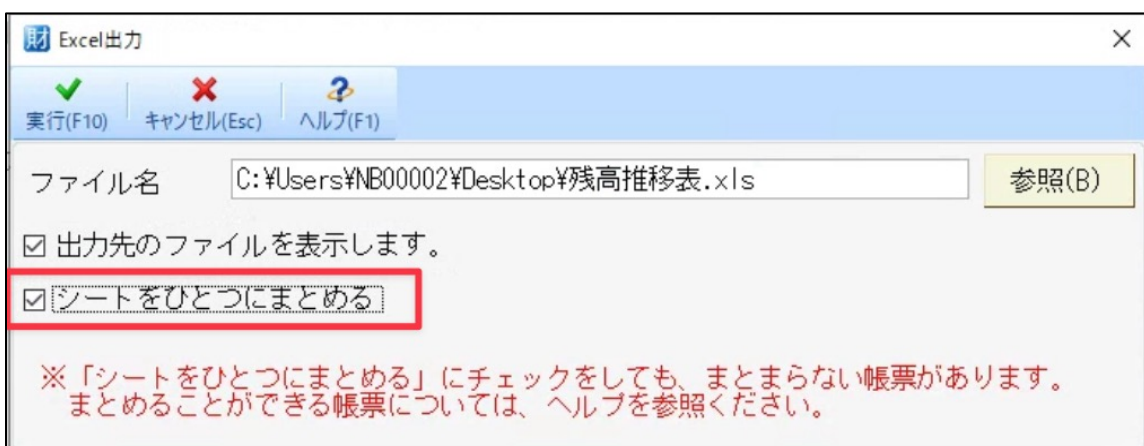
7

「Excel」をクリック。



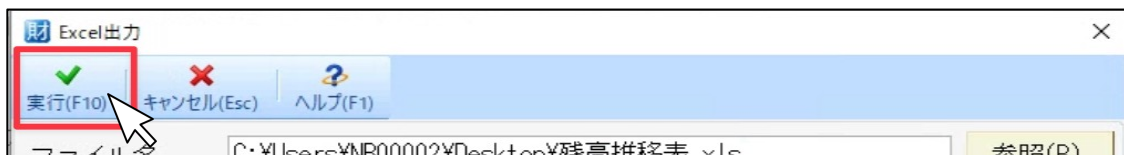
8

「シートをひとつにまとめる」にチェック。



9

「実行」をクリックすると、ファイルが出力されます。



上記の手順で、

- ・「残高推移表（発生）」
- ・「残高推移表（累計）」

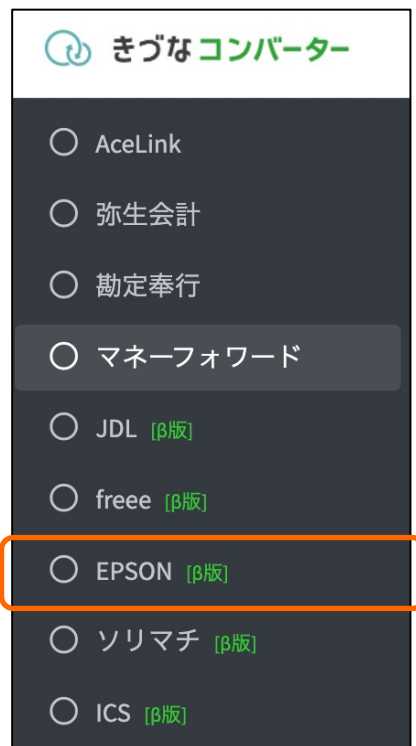
の2種類の残高推移表をダウンロードしてください。



きづなコンバーターでの操作

1 きづな コンバーターにログインします。
(<https://convert.forval-lc.co.jp>)

2 左のメニューバーから
EPSON をクリック。



3 年度・期・何ヶ月決算を入力。

▶ EPSONで出力した累計・発生、それぞれの残高推移表を選択。
(点線枠内にドラッグ&ドロップでもOK。)

▶ 「アップロード」をクリック。



4

決算・月次・月次簡易から、データ範囲を選択

- ▶ 「csvをダウンロード」をクリック
- ▶ データがダウンロードされます。

EPSON

準備ができました

会計年度を確認後、データの種類を選択してください。
ボタンを押すとダウンロード / 送信が始まります。

データの会計年度	2020年	?
出力データの種類	<input type="radio"/> 決算 <input type="radio"/> 月次 <input type="radio"/> 月次簡易	
出力する範囲	9月 から 8月 まで	

csvをダウンロード

きづなPARKへ送信

5

「きづなPARKと連携」画面で法人番号・外部サービス連携キーを登録済みの場合、「きづなPARKへ送信」をクリックで直接きづなPARKへデータを送信することができます。



科目名をデフォルトから変えている場合

1

きづなコンバーターでは、変換時にEPSONのデフォルト科目マスタから以下の科目を使用しています。

資産	負債・純資産	収益・費用
現金及び預金	流動負債	純売上高
流動資産	固定負債	売上原価
固定資産	引当金	販売費及び一般管理費
繰延資産	本店勘定	営業外収益
	支店勘定	営業外費用
	その他有価証券評価差額金	特別利益
	繰延ヘッジ損益	特別損失
	新株予約権	当期純利益
	自己新株予約権	営業利益
	純資産の部	

お使いの環境でこれらの科目名を変更している場合、値が正しく取得されません。その際は、画面右上の「**変換科目一覧表**」から修正を行うことができます。

2

【例】

以下の事業者では、「販売費及び一般管理費」が「販売管理費」に変更してあります。

そのため、出力したエクセルファイルでも、名称が「販売管理費」に変わっています。

544	地	代	家	賃
	一	般	管	理
	費			
560	消	費	税	
	販	売	管	理
	費			
	業	利	益	
600	受	取	利	自

デフォルトでは「販売費及び一般管理費」ですが、この事業者は「販売管理費」に変更してソフトを使用しています。

この場合、この科目は正常にコンバートされません。

3

このpdfファイルを実際にコンバートすると、次の図のように貸借不一致のWarningメッセージが出力されます。

EPSON

データ範囲 ○決算 ○月次 ○月次簡易 (5 ↓月から 4 ↓月まで)

Warning : PLの損益が、BSの当期純損益と一致していません。

以下の科目を取得できていないことが原因かもしれません。

- その他有価証券評価差額金
- **販売費及び一般管理費**
- 本店勘定
- 自己新株予約権
- 当期純利益
- 繰延資産
- 引当金
- 新株予約権
- 支店勘定
- 営業利益
- 特別損失
- 繰延ヘッジ損益
- 特別利益

科目名に変更があれば、変換科目一覧表から変更が可能です。

「販売費及び一般管理費」は「販売管理費」に名称を変更しているため、これが貸借不一致の原因です。

※ 仕訳の入力がない科目も、Warningに原因の候補として表示されます。名称変更をしていない科目は、無視してください。

4

貸借不一致の原因と考えられる科目名が表示されているので、原因となる科目を特定するヒントになります。

5

コンバーターをEPSONのマスターに合わせるには、変換画面右上の「**変換科目一覧表**」をクリックします。

EPSON

マニュアル 変換科目一覧表

fileをドロップ

年度	2023 ↓	期首の西暦を選択してください。
期	半角数字	
何ヶ月決算	12ヶ月 ↓	

6

変換に使用している科目名の一覧表が表示されます。
「EPSON ZaimuR4Lite の科目名」から、名称を変更する科目名を探し、「修正」ボタンを押します。

きづなパーク分類	きづなパークカテゴリー	EPSON ZaimuR4Lite の科目名	修正	削除
資産	現預金	現金及び預金	修正	
資産	流動資産	流動資産	修正	
資産	固定資産	固定資産	修正	
資産	繰延資産	繰延資産	修正	
負債	流動負債	流動負債	修正	
負債	固定負債	固定負債	修正	
負債	固定負債	引当金	修正	
負債	固定負債	本店勘定	修正	
負債	固定負債	支店勘定	修正	
純資産	評価・換算差額等	その他有価証券評価差額金	修正	
純資産	評価・換算差額等	繰延ヘッジ損益	修正	
純資産			修正	
純資産			修正	
純資産			修正	
収益	売上高	売上高	修正	
費用	売上原価	売上原価	修正	
費用	販売費及び一般管理費	販売費及び一般管理費	修正	
収益	営業外収益	営業外収益	修正	

追加 初期化

今回の例では、EPSONで名称が変更されている「販売費及び一般管理費」の「修正」ボタンを押します。

7

名称をEPSONのマスタに合わせて修正後、「更新」ボタンを押します。

きづなパーク分類	きづなパークカテゴリー	EPSON ZaimuR4Lite の科目名	更新
費用	販売費及び一般管理費	販売費及び一般管理費	更新

きづなパーク分類	きづなパークカテゴリー	EPSON ZaimuR4Lite の科目名	更新
費用	販売費及び一般管理費	販売管理費	更新

8

再度ファイルをアップロードすると、Warningの表示が消えました。

科目名をEPSONに合わせたことで、正常に変換ができています。

EPSON

データ範囲 決算 月次 月次簡易 (5月分から4月まで)

csvをダウンロード



変換科目を追加したい時

1

以下に該当する科目をEPSON で新たに追加している場合、変換科目一覧表に追加が必要になります。

有価証券評価差額金

新株予約権

2

科目を追加するには「変換科目一覧表」画面右上「追加」をクリックします。

変換科目一覧表

きづなパーク分類	きづなパークカテゴリ	EPSON ZaimuR4Lite の科目名	修正	追加	初期化	削除
資産	現預金	[現金]	修正			
資産	現預金	(流動性預金)	修正			
資産	現預金	(固定性預金)	修正			
資産	流動資産	[営業債権]	修正			
資産	流動資産	[棚卸資産]	修正			
資産	流動資産	[その他流動資産]	修正			

3

追加する科目を、以下の例にしたがって選択・入力して「追加」をクリックすると、変換科目が追加されます。

変換科目追加

内容を編集し、「追加」ボタンをクリックしてください。

きづなパーク分類	きづなパークカテゴリ	EPSON ZaimuR4Lite の科目名	追加
資産	現預金		追加

「有価証券評価差額金」に該当する科目の場合

きづなパーク分類	きづなパークカテゴリ	EPSON ZaimuR4Lite の科目名
純資産	評価・換算差額等	(EPSONに登録された科目名)

「新株予約権」に該当する科目の場合

きづなパーク分類	きづなパークカテゴリ	EPSON ZaimuR4Lite の科目名
純資産	新株予約権	(EPSONに登録された科目名)



変換科目一覧を元に戻したい時

変換科目一覧をデフォルトに戻したい場合、
変換科目一覧表の右上「初期化」をクリックすると、
ワンクリックで初期化が可能です。

変換科目一覧表

きづなパーク分類	きづなパークカテゴリ	EPSON ZaimuR4Lite の科目名	修正	削除
資産	現預金	[現金]	修正	初期化
資産	現預金	(流動性預金)	修正	
資産	現預金	(現金)		

追加 初期化